

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (異なる取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
人 権 ・ 労 働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5									8.5 8.7 8.8									10.2 10.3									16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・面談の機会を設けるなど、経営トップにいつでも直接相談できる環境を作っている					5.1 5.2 5.5										8.5 8.8																16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・残業時間の管理、業務効率化、有給休暇の取得奨励などの働き方改革に取り組んでいる																8.5 8.8																	
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者に対しても、日本人と同様に基準によって公平に処遇している				4.4												8.7 8.8									10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・定期的なハトールを行い、維持管理及び改善を行っている							3									8																	
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・面談の機会を設けるなど、悩み事のヒアリングや相談を経営トップに直接できる環境を作っている							3																										
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・様々な人材が活躍できるよう、その人に合った雇用形態や勤務時間、職場環境を整備している						5.1 5.5										8.5									10.2 10.3								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・研修への参加など、学習機会を付与している				4	5.5											8	9																
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金等の原則に沿った公正な待遇を行っている						5.5										8.5									10.2 10.3								
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】健康経営優良法人認定の取得を検討する							3									8																	
	環 境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の管理及び処理を適切に行うとともに、過剰梱包をなくすため、通函を利用している																								11.6	12.4	14.1						
			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エネルギー使用量を把握し、設定値を超えそうになったら節電を呼びかけている																7.3								13								
			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・工場内のエアコンを省エネ製品に買い替え、適切な温度設定で使用している																7.2 7.3								12.4	13.3							
			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質の取り扱いの無いことを確認している							3.9									6.3								11.6	12.4							

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	産業廃棄物の処理を正しく行っている							6.6													15												
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	3Rを意識した取り組みを行っている														12.5		14.1																
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	利用状況を把握し、節水に取り組む							6.4	6.6																								
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】環境マネジメント規格の取得を検討する				3.9			6	7								12	13.3	14	15													
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HPで公開する																	12.6															
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】どんな再生可能エネルギーが利用可能なのか検討する									7.2									13														
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	過剰発注及び過剰在庫にならないよう努めている																		12.2	13	14	15											
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社長方針に法令遵守が明記されており、各部門に掲示している																															16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社長方針に法令遵守が明記されており、各部門に掲示している																																16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産を含む業務上の機密等を、外部に漏らさないよう取り組んでいる									8.2	8.3	9																					
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	不正アクセスなどを防止するため、セキュリティシステムの維持や管理体制の整備等、必要な措置を講じ安全対策を実施している																																16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	環境調査を実施し、随時確認している																																16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	納品や打ち合わせの場で認識を共有できるよう取り組んでいる						5			8			10					12	13	14	15	16	17										
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】パートナーシップ構築宣言の作成及び公表を検討する				3							8	9	10																			17

※ 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・最大限の注意を払い、専任担当者による品質管理を推進している			3.9								12.4							
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・営業担当を配置し、顧客の意見を製品やサービスに反映する仕組みを構築している								9										
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・自社で金型の設計を行っており、再研磨により長く使用できるような材料や構造などを工夫している						6				12	13	14	15					
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会課題解決に取り組む	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・商工会議所等への参画により情報を収集し、役割を果たしていく				4					9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・ロータリークラブに所属し、現在活動中				4							11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域の人材を雇用し、購買品はできる限り地域より調達している									8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・社の方針を明文化し、各部門に掲示している									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・掲示物などを活用して法令遵守(コンプライアンス)の重要性を周知徹底している																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当を決め、自社活動が社会・環境に及ぼす影響を確認するよう努めている																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・担当者を配置して、お客様からの声や要望に対応している																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001の中でリスクと機会を特定し、活動している																		16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、責任を持った対応に取り組む																		16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続力強化計画(BCP)を策定している										9		11		13	13.1			16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者については選定中										8	9							17

上記以外で設定した取組項目																					
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定